

## 補助テーブル ME型

このたびはユニオンスチール補助テーブルME型をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は、作業台の補助テーブルとしてはもちろん、指示書作成やメモ書きなどの筆記作業にもお使いいただけます。また、天板の高さと角度が調整できるため、工場・学校・オフィス・作業所など幅広い作業環境で多様な用途にご利用いただける補助テーブルとして末永くご使用いただけます。

均等静止荷重 **20kg**

※均等静止荷重とは、天板の表面に均一に荷重をかけた場合に耐えられる重さの合計量をいいます。  
※表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

### 安全上のご注意 必ずお守り下さい。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



#### 警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■表示荷重以上の荷重をかけないで下さい。

補助テーブルが破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■側面や正面からの大きな力をかけないで下さい。

補助テーブルが破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■移動時は、天板の上に物を置いたり、作業はしないで下さい。また、運搬に使用しないで下さい。

補助テーブルが転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■不安定な場所に設置しないで下さい。

補助テーブルが転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■高さ調節・角度調節を行う際は、天板の上に物を置かないで下さい。

補助テーブルが転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。



#### 注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■屋外や水のかかる場所に設置せず、また濡れたものを置かないで下さい。

補助テーブルにサビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■表示耐荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

■天板を下げる動作中に、無理に力をかけないで下さい。

無理に力をかけますと、破損・変形し、怪我をする恐れがあります。

■補助テーブルの切断、改造をしないで下さい。

補助テーブルが不安定になり危険です。また、切断のバリ等で怪我をする恐れがあります。

■組み立ては、この組立・取扱説明書に記載の組立手順に従って下さい。

手順を誤ると組立中に部品が外れたり、倒れたりして怪我をする恐れがあります。

■補助テーブルの土台の裏面や可動部の端面を、素手で触らないで下さい。

鋭利な部分に触れて、怪我をする恐れがあります。

■支柱の伸縮部に指を入れないで下さい。

指が抜けなくなったり、巻き込まれて怪我をする恐れがあります。

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡してください。

※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

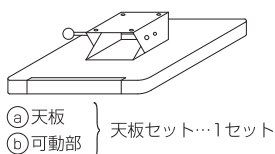
# ME型 補助テーブル 組立説明図

組み立てる前に梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

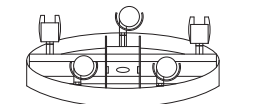
※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組立して下さい。

## 部品明細

2梱包中の 1



①天板  
②可動部 } 天板セット…1セット



③土台(④キャスター付)…1枚

⑤六角ボルト(M8×15)…4本

⑥SW(M8)…4個

⑦ナット(M8)…4個

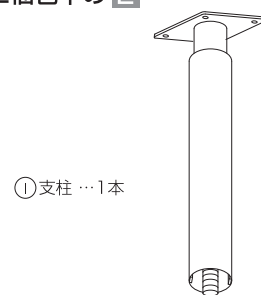
⑧SW(M16)…1個

⑨ナット(M16)…1個

⑩レンチ(24mm)…1本

⑪メガネレンチ(10×13)…1本

2梱包中の 2



⑫支柱…1本

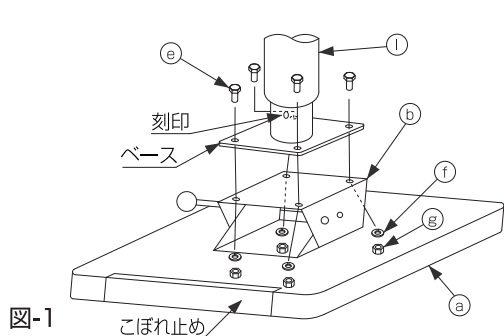


図-1

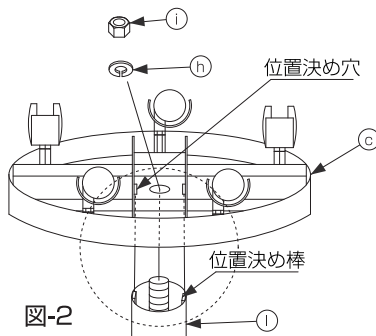
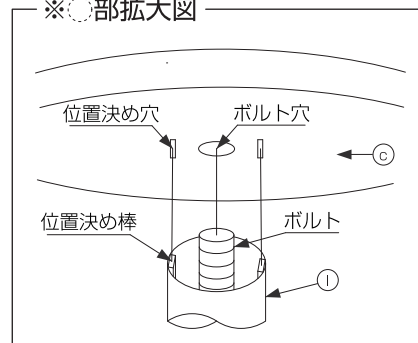


図-2

## ※部拡大図



## 組立順序

1. 1の箱から天板セットを取出し、天板①の裏面(可動部②有)を上に向けて下さい。次に、2の箱から支柱⑫を取出し、図-1のように支柱⑫の刻印が正面にくるように、支柱⑫のベースの穴と可動部②の穴を合せ、ボルト⑤を差込みSW⑥とナット⑦で締めて下さい。その後、メガネレンチ⑪でしっかりと締付けて下さい。
2. 1の箱から土台③を取出して下さい。次に、土台③の裏面(キャスター④有)を上に向け、図-2のように土台③のボルト穴と位置決め穴を、支柱⑫のボルトと位置決め棒に合わせ、SW⑧とナット⑨で締めて下さい。その後レンチ⑩でしっかりと締付けて下さい。
3. 組立てた状態でテーブルを起して下さい。  
※注)テーブルを起す際は、支柱が伸縮する可能性がありますのでご注意下さい。

## 高さ調整の操作方法

### 〔天板を上げる場合〕

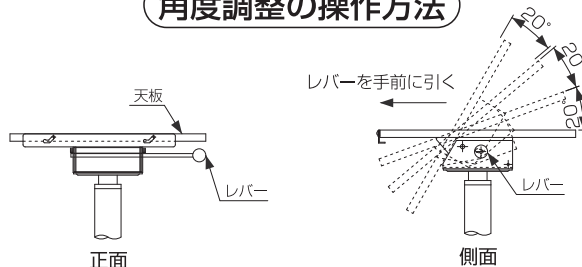
土台を足で押さえ、カチッと音がするまで(10段階・20mmピッチ)、ゆっくりと天板を持ち上げ、任意の高さ(支柱に0~10刻印有)に合わせ、ご使用下さい。

### 〔天板を下げる場合〕

土台を足で押さえ、天板を一旦最上部まで上げ、ロックを解除すると、ゆっくりと天板が下がります。最下部まで下がるとカチッと音がし、天板を上げる場合と同じ要領で任意の高さに合わせ、ご使用下さい。

※下げる動作中での調整はできません。

## 角度調整の操作方法



右手でレバーを手前に引っ張り、左手で天板の正面部を軽く押さえると、天板が傾きます(3段階・20°間隔)。レバーを奥に戻し、溝に入っているのを確認してからご使用下さい。戻す場合は、同じ要領で天板の正面部を軽く持ち上げると傾きが戻ります。

注意：高さ調整・角度調整をする際は、必ず天板の上に物が無い事を確認してから行って下さい。

## 仕様

耐荷重 (均等静止荷重) **20kg**

間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	17mmポリ化粧天板
450×450×700~900	ME-4545
600×450×700~900	ME-4560

製造元 **ユニオンスチール株式会社**  
〒584-0022 富田林市中野町東2-5-36

電話 (0721)25-4603番(代)  
<http://www.unionsteel.co.jp>

日本製